

## 外来担当医表

土曜日は休診です

※2015年7月1日現在の内容です。  
 ※担当医は予告なく変更になることがあります。

|          | 月  | 火  | 水               | 木   | 金  |
|----------|----|----|-----------------|-----|----|
| 午前       | 中島 | 田仲 | 村上              | 藤永  | 田仲 |
|          |    | 笠原 | 城野              | 石津  | 井手 |
| 午後<br>予約 |    |    | 城野<br>(14:00まで) | 非常勤 |    |

### 病院理念

私たち向陽台病院は、地域医療のなかで安全で効果的な精神科医療を提供するために、職員の知恵を結集し、迅速かつ包容力のある対応ができる病院を目指します。

### 患者の権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。また、他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。



### 医療法人横田会 向陽台病院

〒861-0142 熊本市北区植木町鏡田1025  
 TEL: 096-272-7211 FAX: 096-273-2355

<http://www.koyodai.or.jp/>



当日の診察順番をコチラから受付できます

再来専用受付システム



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2015年1月に3rdG:ver1.0で再認定されました。



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価（認定3/Stage-1）の第三者評価認定を受けています。

● 日本精神神経学会専門医研修指定病院

● 日本精神科病院協会認定専門医研修病院

こもれび



●今号の表紙  
向陽台病院の畑で夏野菜がたくさん採れました！

病気のおはなし  
**せん妄**

プログラム紹介

「学習支援の教室」

イベントレポート

「城北大会」

こもれびエッセイ

第19回・阪本 匡聰

そよ風家族会 通信

こもれびぷらざ

・外来紹介

・メンタルクリニック保田達

思春期シヨートケア

KOMOREBI  
2015.Summer

vol.46

執筆：診療部 医師 星野 清志

# せん妄

もう



せん妄は治療が可能とされています。飲んでいる薬が原因の場合もありますので、まず受診してみてください。家族だけで抱え込まず、保健師やケアマネジャーに相談したり、サポートを受けてください。

## どんな障害がでるの？

「80歳の叔父が病気で入院したら急に変なことを言うようになり、時間も場所もわからなくなってしまう。認知症になったのかも知れない」というような経験のある方がいるかも知れません。こういう場合、実は「せん妄」という一種の意識障害のことがよくあります。

せん妄は軽度から中等度の変化する意識障害の時に、不安が強まったり、錯覚や幻覚を伴って、変なことを言ったりやったり、興奮したりする状態を言います。認知症と似ていますが、急に起こるのが特徴です。



辺りが暗くなる夜間に起こることが多く「夜間せん妄」と呼ばれます。完全に治るのもせん妄の特徴で多くは数日から1カ月程度で元の元気な姿に戻ります。

## 原因は？

せん妄の原因は実はさまざまで、脳の病気がかりではなく、全身のいろんな病気で具合が悪くなったときに起こります。脱水状態や飲んでいる薬（抗不安薬や便秘薬など）の影響で起こることもあります。入院や引越といった心理的ストレスが引き金になることもあります。軽いものも含めれば70歳以上の入院患者さんの15%程度がせん妄になるという統計もあるので、みなさんの思っている以上によくある病気です。

認知症が原因のせん妄もありますが、せん妄を起こしたからといってその人が認知症とは限りませんので、誤解すると失礼にあたります。

## 症状は？

せん妄は突然始まり、軽快増悪しながら数時間から数日間かけて進行します。症状の特徴は注意を払えなくなることです。せん妄状態の人は何かに集中することができなくなるため、新しいことを覚えられず、最近の出来事を思い出せなくなります。そのため、自分の周りでは何が起きているか理解できなくなり、時間も場所もわからなくなってしまう。「見当識障害」と呼ばれる状態になります。

ひどいせん妄では自分の名前も言えなくなり、当てもなく歩き回ったり（徘徊）、支離滅裂な行動をとったりします。症状の変動が大きく、異常に興奮していてもすぐに寝てしまうこともあります。睡眠と覚醒のサイクルが狂ってしまい、昼間眠って夜中に起きていたり、奇妙で恐ろしい幻覚を見たり、実際にはいない人が見えることもあります。

## 治療は？

せん妄の原因を見つけて、それを取り除くのが第1です。ひどいせん妄になると夜も眠らず、食事薬も飲まなくなりますが、全身状態をしっかり管理して身体合併症や元の病気を悪化させないことが、治療の2番目です。3番目に薬物療法として向精神薬が使われます。

## せん妄かなと思ったら？

残念ながら、せん妄に自分で気づく人はいません。まわりの人がうまく勧めて受診をさせるか、本人が信頼している人、世話になっている人から話してもらうか、地域の保健師さんやケアマネジャーの力を借りるのが良いと思います。

せん妄自体は回復可能な病気ですが、せん妄を起こしている元の病気が進行することもありますので、早めの受診をおすすめします。



# プログラム紹介

●デイケアセンター 臨床心理士 中野 愛  
●医療コーディネーター部 臨床心理士 辻 翔太

## 学習支援の教室

当院では、児童思春期ユニットやデイケアで治療中の子どもたちを対象に学習支援を実施しています。以前は自習形式で行っていましたが、席を離れたり、おしゃべりに夢中になったり、すぐに退室してしまったり…と学習に向かえない子どもたちがいました。不登校の子どもたちも多く、学習から長期間離れていると「勉強は難しい」「自分には無理」という思いが強くなり、学習に取り組むこと自体が高いハードルとなっているようです。そのため、ある程度のやる気が求められる自習という形では難しくかったのかもしれない。そこで、現在は机を一方向に並べ、号令がかかってスタートという授業の形にしています。集中して頑張る他の子どもたちの姿を見ることで、学習モードもONになりやすいようです（…というのはスタッフの希望かもしれませんが…）。

学習へのやる気が出て、「できた！」と誇らしげにプリントを見せに来る子どもたちの姿を見ると、スタッフも嬉しい気持ちになります。

「先生。いつもお話ししてくれてありがとう。手紙を書いたよ」小学3年生のA子さんが手紙を書いてくれました。花柄の可愛らしい手紙です。ほっこりした気持ちになりましたが、手紙を開いた私は目を丸くしました。そこには鏡に映ったように反転したカタカナや、余計な線の多いヘンテコな漢字が並んでいたからです。もしこの文字でラブレターを書いたなら、彼女の恋はきつと実らないことでしょう。そこで私は漢字の指導に取り組みました。しかしA子さんは練習中にも何度も書き間違いをします。どうやら文字の細部を目でしっかり捉えることが苦手な

ようです。そこで私はA子さんに『道村式漢字カード』と呼ばれるアイテムを紹介しました。これは漢字のパーツを言葉で唱えながら覚えていく方法です。例えば『大』という文字であれば「(漢数字の)一、左払い、右払い」と一緒に唱えていきます。漢字を何度も書く必要のないこの方法をA子さんはとても気に入りました。「先生！今日は漢字まだ？」と自ら進んで学習を希望するようになったのです。

A子さんのようにヘンテコな文字を書いている子どもは少なくありません。そうした子どもたちの指導には、通常とは異なる特別な学習方法が必要なのだ

感じています。全ての子どもたちに、素敵なラブレターを書けるようになってもらうことが私の野望なのです。

ご紹介した事例は複数の子どもたちのエピソードを合わせたものですが、このように学習の内容や方法は一人ひとりに合わせて、学校へ戻った後のことも考えて、構造は集団で、というスタイルを取っています。「勉強が楽しい！」というところまでは難しいかもしれませんが、「仕方ないからやってみるか」というくらいには思ってもらえるよう、スタッフも工夫を凝らし、学習をサポートしていきたいと思えます。



# 「城北大会」

◆医療コーディネーター部 作業療法士 岩永 知寛

城北大会は鹿本地区（菊池有働病院・山鹿回生病院・向陽台病院）3病院で行う親善レクリエーションです。各病院のスタッフ間で連絡を取りながら企画を進め、年に一度この時期に開催しています。歴史は古く、20年以上続く大会で、過去にはソフトボールやゲートボールなどさまざまな競技が行われていたと聞いています。このように長年続いている大会を今年度は当院が主催し、平成27年4月15日に向陽台アリーナで行いました。

近年参加者の年齢層を考慮し、動きの少ない競技を行う傾向にありました。そんな中「今まで以上に活気のある大会にしたい」という思いで企画・運営を進め、動きがあり集団競技である6人制ミニバレーを行うことを決めました。午前中はベタタンクペタボード、午後に6人制ミニバレーを行いました。

大会当日、朝の天気は曇り。参加者やスタッフが集まると、互いに挨拶を交わす姿が多く見られました。午前中は競技経験がある方とない方とさまざま



でしたが、時間の経過と共に参加者や見学者から応援の声が出るようになりました。昼食ころには天気も回復して日が照っており、アリーナの中は少し蒸し暑さを感じるほどでした。午後は6人制ミニバレーを3病院混合のチームで行い、メンバーで声を出しながらボールを繋ぎ、楽しんでプレーする姿が印象的でした。うまくボールを繋ごうと試合ごとにポジションを変更するなど作戦を練るチームもあり、競技を通して「協力する」という無意識の交流が生まれていました。閉会式では少し疲れた表情が見られましたが、「楽しかった」「久しぶりに運動した

よ」などの言葉もあり、充実感のある良い疲れのように感じました。

今大会全体を通して、企画の際、目標としていた「活気のある大会」という雰囲気が出ており、体を動かすこと、交流することの重要性を改めて感じました。今後も行事を通してこのような交流ができるよう企画していきますので、できるだけ多くの方に参加していただければと思います。





# こもれびりレーイッセイ



● 第19回：総務課 課長 阪本 匡聰

やっと長い一年が終わった…。というのも、縁あって次女の通う小学校のPTA会長をさせてもらっていた。自ら望んだわけでも、柄にもないのだが、祖母、父、私、そして娘二人の四代でお世話になった小学校でもあり、学校や地域への恩返しのもりで引き受けた。

PTAの活動は、学校行事への協力だけでなく、一学期は総会にはじまり運動会や夏休みのプール開放に愛校作業。二学期のメインイベントはバザー。三学期は「どんどや」など…。中心となって行う活動がある。他にも学校のPTA代表として区や市の組織に所属し、たくさんの方に活動に参加してもらった。

代々続く引継書をバイブルに、副会長、書記、会計といった執行部のメンバーと共に、保護者さんたちと一年よく頑張ったと思う。

PTAは「子どもたちのために」営利を求めず活動する団体である。さまざまな行事を通して、「何よりも子どもたちの笑顔が対価だ！」なんて格好をつけてみてもやはり大変…。

しかし、「きつかった…」だけで終わっては一年がもったいない。それだけではなかつただろうと、よく思い出してみる。

「子どもたちが喜んでくれるためにはどんなことをしようか？」と、大の大人が集まって「ああでもない、こうでもない」と悩み、自分たちで解決できなければ、他の小・中学校の役員さんに相談していた。いつの間にか、地元だけではなく他の地域にもたくさんの方々ができており、共に「子どもたちのために」と考えて行動することがとても楽しかった。

卒業式の祝辞で卒業生に伝えたメッセージ。  
『学校で出会い、共に成長し共に過ごした友だちは一生の大切な宝物。』

私自身、大人になってもなお一生の大切な宝物を得る経験ができて、成長もさせてもらった。それだけでも、大きな大きな収穫があったのではないかと、そう思える大人になりたいと思いつつ、中学校でも大変だろうなあ…。と心の準備をしている今日この頃。

▼ 次回予告 作業療法科 堀智一 主任へバトンタッチ



## そよ風家族会 通信

デイケアセンター 臨床心理士 杉本 千佳子

5月23日(土)にそよ風家族会の総会を行いました。15家族が参加され、昨年度の活動報告と今年度の活動計画について話し合いました。総会終了後に行った家族交流会では、病気を持つ子どもやパートナーとどのように付き合っていけばよいのか、病気をどう受け止めればよいのか、親子後をどうしていくか…など、話題は尽きずあつという間に時間が過ぎてしまいました。

病棟やデイケアセンターで治療に携わっている私たちスタッフが、ご家族とゆつくりお話しする機会はなかなかありません。ご家族の苦労や想いを直接お聞きすることはどんな研修や専門書よりも勉強になるなあと痛感した一日でした。

今年度は8月22日(土)に「当事者とその家族のお話」、11月28日(土)に「治療の流れと職種の役割、使える制度」、2月27日(土)に「家族交流会」を予定しております。当事者も、それを支えるご家族も、いきいきと元気に暮らせるように家族会を盛り上げていきたいと思っております。もしも、さらにはたくさんのご家族に参加してもらえれば、この一年の私の課題です。

### 今年度の予定

- 平成27年8月22日(土) 10時〜12時
  - 平成27年11月28日(土) 10時〜12時
  - 平成28年2月27日(土) 10時〜12時
- ▼ 会場：リュミエール活動室

詳しくは

☎096-272-1721  
までお問い合わせください。

# こもれびぷらざ

向陽台病院の最新ニュースやお知らせなどをお届けします。

## 外来紹介

看護師 川田 明美

当院の外来は、病院玄関から右に入った所に縦長くあります。診療は月曜日から金曜日まで、また祝日も行っています。これは通常の日に受診できない方々に喜ばれております。1カ月で約950人くらい(1日平均では60人前後)の方々の受診があり、その中で1カ月に約60名くらいの新たな患者さんが受診されています。新患の方は事前に予約を入れてからの受診になりますので、地域連携室が相談窓口となり、医事課受付や外来、診療部など他部署との連携を密に行い、患者さまがスムーズに受診できるように注意をはらっています。

当院では、毎朝9時から9時40分まで、病院全体の各部署の代表が集まり「朝ミーティング」という名前で、前日から当日にかけて病院の動き(入院・外来患者の動向や病状など)や、隣接するグループホーム入居者の方やデイケア利用中の方、また訪問看護スタッフからは自宅で生活を送っている方など、地域で生活されている方々の情報交換を行います。スタッフ全員で情報を共有することができ、外来業務を行う上で非常に助かっています。

当院は児童・思春期の患者さまも多く、最近はいさいお子さん(幼稚園児)や小学校低学年から児童思春期の受診が増えました。採血や検査、病状によっては診察まで待つことが難しかったりしますので、途中で声をかけたり、都度、様子を見に行ったりと臨機応変に対応しています。患者さま本人やご家族は不安や抵抗感などさまざまな思いを抱えておられると思いますので、私たち外来スタッフはそんな思いをできるだけ受け止めながら、安心して診療を受けていただけるような援助を心がけています。また、急性期の症状であまり納得できずに受診になった方もおられます。患者さまの安全を第一に迅速な対応を心がけた看護を行っていきたいと思えます。

とにかく、病院の窓口ですので笑顔と絶やさず患者さまへのサービスに努めてまいります。



## メンタルクリニック保田窪

精神保健福祉士 山川 あゆ美

### [思春期ショートケア]

※7月から下記の時間帯に変更になりました

時間 毎週【水・金曜日】 13:00~16:00

場所 メンタルクリニック保田窪 2階 デイケア室

活動内容 創作や運動の他に、夏休み中は学習も取り入れる「特別プログラム」を行います

対象 10代前後の小中学生

### メンタルクリニック保田窪

〒862-0926 熊本市東区保田窪5丁目10-23  
TEL.096-213-6945

| 診療時間・休診日    | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9:00~12:00  | ● | ● | ● | ● | ● | ▲ | — | ▲ |
| 14:00~17:30 | ● | ● | ● | — | ● | — | — | ▲ |
| 17:30~19:00 | — | ● | — | — | ● | — | — | — |

★ショートケアへの参加や訪問看護をご希望の方はご相談ください

今回は、当クリニックにおける「学校との連携」についてご説明いたします。平成26年度(平成26年9月~平成27年3月)クリニックを受診された児童・思春期の方は、全体の46%でした。うち半数以上は小・中学生です。不登校、ゲーム依存、食事や発達の相談など受診理由はさまざまですが、治療はご本人とご家族の意向に添いながら進めていくこととなります。その中で、ご本人やご家族の了解を得て、学校の担任の先生や養護の先生と連携を取らせていただく場合があります。具体的には左記のとおりです。

- お薬の調整のために、学校での様子を教えてくださいたい時
- 訪問看護やショートケアを利用しての時の様子をお伝えしたい時
- 学校の会議に呼んでいただけて、クリニックの意見を求められた時など

診察時間は限られており、毎日の様子を正確に把握できないこともありますので、ご家族や学校の先生方に日々の情報をいただくことで、治療に活かしたいと思っております。小中学校の先生方と連携させていただく中で、私共がご迷惑をおかけする事や、先生方のご意向に添えない事もあるかと思いますが、今後も地域に少しでも貢献できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしく願います。

## 診療のごあんない

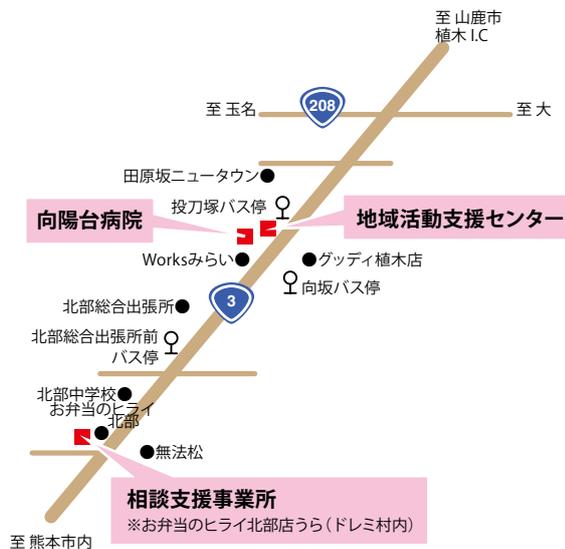
- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 病床数：198床
- 外来診療時間  
【月～金曜日】9時40分～16時  
(ただし、受付は12時30分まで)  
【土・日曜日】 休診

祝日も平常どおり診療しています

## 交通アクセス

- 産交バス 向坂バス停から徒歩3分  
 投刀塚バス停から徒歩3分
- 車  植木ICから10分
- JR  植木駅下車 → タクシーで6分

## アクセスマップ



## 初めて受診される方へ

当院は**予約制**です。  
 初めての方は、**地域連携科**へお電話ください。  
**☎ 096-272-5250**  
 電話受付時間  
 【月～金曜日】9時～16時30分  
 電話の際、①お名前 ②相談内容 ③連絡先 などを  
 おうかがいし、予定の日時を決めます。

**当日の所要時間** は問診や診察、検査などを含め、  
**2時間程度** とお考えください。

**動向を探る** 向陽台病院を利用されている患者さんの動向を掲載しています。

| 集計月      | 外来延数  | 新患者数 | 1カ月ごとの入退院者数 |    |
|----------|-------|------|-------------|----|
|          |       |      | 入院          | 退院 |
| 2015年 3月 | 2,812 | 76   | 40          | 37 |
| 2015年 4月 | 2,848 | 64   | 49          | 49 |
| 2015年 5月 | 2,657 | 56   | 34          | 41 |

(単位：人)

## 「こもれび」に関するご意見・感想をお待ちしています！



私たちは「こもれび」とおして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。(向陽台病院 広報委員会)

## 編集後記

6月、雨上がりで落ち葉が風に飛ばされている山道を、車のライトを頼りに走っているとそれに紛れて、ピヨン。確実に目的のある動き。あんなにいい濡れ落ち葉が風と一緒に動いていても、意志ある動きははっきり見える。キュッとハンドルを切って停車。「カエル、踏んでないよね」。見当たらない。「しかし、意志ってはっきり見えるんだな」と思いつつ、ドアを開けてハッとする。「いや、そもそも何もないなかつたんじゃないか」。ソーー。暑い夏だと思いましたが、こもれびをよろしく願っています。

(濱本 晋也)